

# 直近の世論調査から - 2019. 2. 5 (景気回復は統計詐欺!? 参院選は前回並み体力)

## 1. 安倍内閣の支持率4割台で推移。「景気回復」宣言に統計詐欺疑惑も

### 内閣支持率

2019年1月	支持	不支持
日経1.28	53	37
毎日		
読売1.28	49	38
朝日1.22	43	38
共同1.14	43.4	42.3
時事1.16	43.5	35.1
NHK1.15	43	35
JNN1.14	50.8	45.5
ANN1.28	41.0	37.9
FNN1.22	47.9	39.2
平均	46.1	38.7
12月平均	43.0	41.7
前月比	3.1	-3.0

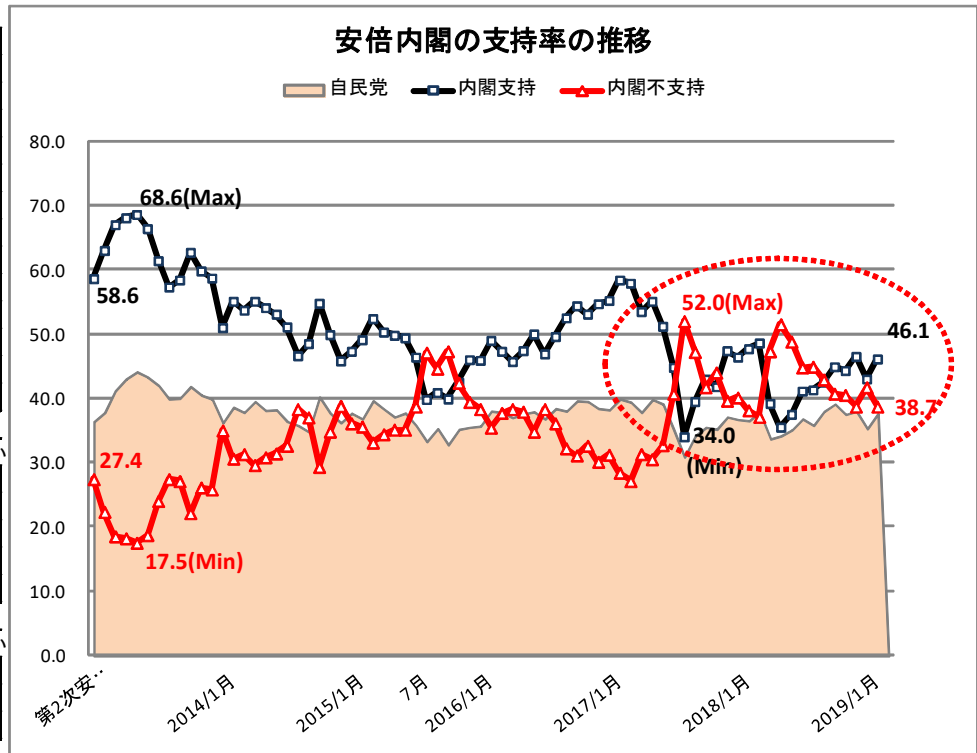
### 毎月勤労統計 - 政府統計の信用

	信用できる	信用できない
共同1.14	10.5	69.1
FNN1.22	12.1	78.2
読売1.28	12	80
日経1.28	14	79
平均	12.2	76.6

### 説明(隠蔽ない)に納得できるか

	納得できる	納得できない
読売1.28	6	85
ANN1.28	8	83
平均	7.0	84.0

※今月は毎日が調査休止



① 12月の内閣支持率は支持 43.0%と不支持 41.7%とが接近、4社で支持率逆転というものだったので「新年早々にまた不支持が支持率を上回るか」という予感もあったのだが、1月の支持率は 46.1%に回復し、不支持が 38.7%と、4割台で推移している。入管法改正問題が一段落したことが原因かもしれない。

### 厚労省の調査は

	問題ある	問題ない
JNN1.14	86	9
朝日1.22	82	13
平均	84.0	11.0

### 同上 - 政府統計データの信頼性

	影響ある	影響ない
読売1.28	80	12

### 同上 - 政府統計データの信用度

	上がった	下がった
朝日1.22	3	48
変わらない 44		

### 根本厚労相の対応・説明に

	納得できる	納得できない
共同1.14	18.0	69.1

### この15年間の厚労相へのペナルティ

	必要だ	必要ない
FNN1.22	59.6	30.4

しかし、新年早々、厚労省による毎月勤労統計不正問題は泥縄的な深みにはまり込んで、安倍政権の支持率に影響を与える可能性がある。政府の統計調査が「信用できない」、政府説明にも「納得できない」が8割前後の高率になっている。

### 今年の景気について

- NHK1.15 ①良くなる 10  
②悪くなる 26 ③変わらない 52

### 安倍政権で景気回復の実感はあるか

	実感ある	ない
朝日1.22	26	72

計詐称じゃないか！」との疑惑すら出てきた。立憲民主党が、野党の試算を念頭に、「18年は実質賃金がマイナスになる可能性が出てきた。アベノミクス偽装そのものだ」として事実関係をただした。しかし安倍首相はその事実を認めず「連合の調査」を持ち出して「5年連続で今世紀に入って最高水準の賃上げが連続しており、雇用・所得環境は着実に改善しているとの判断に変更はない」と国会答弁している。これまでの世論調査でも「景気回復を実感していない」という人が圧倒的だったのも当然の話だ。1月のNHKや朝日の調査でも、「そんな生活実感はない！」が8割程度になっている。

※ 1月は、毎日が調査休止になった(2017年12月調査以来)。このことによるデータへの影響は最大幅で 0.8%以内と推計されるので、

### 今年10月に消費税10%に(賛否)

	賛成	反対
JNN1.14	43	51
FNN1.22	45.8	50.8
日経1.28	39	52
平均	42.6	51.3

### 軽減税率制度について理解してるか

	理解してる	してない
共同1.14	44.0	55.0

### 消費税増税による景気の先行きに不安

	感じる	感じない
FNN1.22	74.0	21.9

この誤差は無視することにした。

②今年秋に控えている消費税 10%問題も「景気回復か否か」によっては影響が出てくる。2019年度予算では「今回の増税では増収分をすべて使い切る」と軽減税率、ポイント還元などで大判振る舞いしているが、消費税増税による景気の先行きに「不安を感じる」人は74.0%に達しており(FNN)、消費税増税10%そのものについても、1月調査でも「賛成は42.6%、反対が51.3%」(3社平均)と引き続き反対派が多数のまま推移している。

**辺野古-土砂投入を続けることに**

	賛成	反対
朝日1.22	28	58

**辺野古で沖縄県民投票と政府対応**

時事1.16	①結果に従うべきだ 49.5
	②結果に拘わらず推進すべき 23.5
	③結果に拘わらず中止すべき 13.0

**政府は県民投票の結果を**

	尊重すべき	そう思わない
ANN1.28	69	17

③沖縄県の米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設の賛否を問う県民投票(2.24投開票)は、投開票事務を拒否していた5市の全ての参加が決まり、県内全市町村で実施されることになった。9.30沖縄知事選挙以来、沖縄県民の意思は確認されたのに、安倍政権のかたくなな姿勢に対する批判も高くなっている。「政府の普天間基地の辺野古移転(工事)」については、11月調査が「賛成36.1%・反対48.5%」(2社)、12月には「賛成30.3%・反対54.5%」(4社)と続き、1月は「賛成28%・反対58%」(朝日)になっている。県民投票についても、時事の調査では「結果に従うべき」49.5%、「結果に拘わらず中止すべき」13.0%で、「結果に拘わらず推進すべき」は23.5%にしかない。ANNでも「県民投票の結果を尊重すべき」が69%だ。しかし県議会と野党の妥協で、設問の選択肢が賛否の2択から「どちらでもない」を加えた3択となったことで中間派・曖昧票がどの程度出るのか注目される。「辺野古」県民投票の会は「県民投票はアンケートや世論調査ではなく、政策決定に大きくかかわるので、辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否をシングルイシュー(1つの争点)で問い、沖縄の民意を明確に示す県民投票の目的からしても、本来、賛否の2択が大原則であるということも十分に認識している。」との1.25声明を出している。

**2. 立憲の支持率また微減7.1%に。「野党統一候補」への期待続く(賛成50.5%)**

**来年参院選では野党統一候補で**

	賛成	反対
朝日1.22	50	36
読売1.28	51	31
平均	50.5	33.5

**野党の望ましい姿勢は**

	徹底追求型	提案型
JNN1.14	24	51

**参議院選挙をダブル選挙で?**

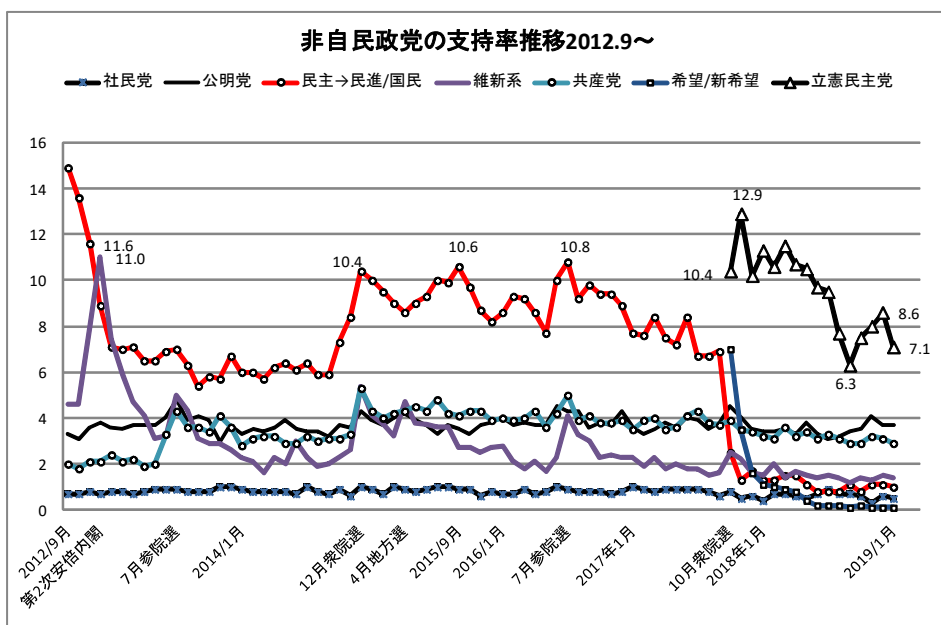
	賛成	反対
FNN1.22	41.6	41.7
NHK1.15	18	21
どちらとも	51	

**参院選結果で改憲勢力2/3占めること**

	賛成	反対
朝日1.22	39	39

**参院選結果で与党過半数維持に**

	賛成	反対
読売1.28	45	40



④政党の支持率では、自民党が2.3%増の37.5%。立憲民主党が1.4%減の7.1%になり、全ての野党が支持率を下げた格好になった。参院選を前にした情勢では、「ダブル選挙」の是非についてはFNNとNHKが調査しているが賛否が拮抗する微妙な雰囲気だ。選挙結果で「改憲勢力が2/3を占めること」にも「与党が過半数維持すること」にも、同様に賛否が拮抗している。政権批判はあるものの、それが「野党への追い風」にはなっていない。こうした中で、自由党と国民民主党との統一

政党支持率

1月	自民	立憲	国民	新希望	公明	共産	社民	維新	自由	支持なし
日経1.28	43	9	1	0	4	4	1	2	0	33
毎日										
読売1.28	38	6	1	0	3	2	0	1	0	45
朝日1.22	38	7	1	0	3	3	0	1	0	38
共同1.14	36.0	9.2	1.4	0.0	2.8	2.4	0.4	2.4	0.6	43.5
時事1.16	26.7	4.2	0.2	0.2	2.8	1.9	0.6	1.1	0.0	60.0
NHK1.15	35.2	6.0	1.0	0.0	5.5	2.7	0.2	0.8	0.2	42.5
JNN1.14	37.8	5.2	0.6	0.0	3.4	2.5	0.4	1.1	0.4	43.5
ANN1.28	43.6	7.1	1.2	0.2	5.1	4.1	1.4	1.4	0.5	35.2
FNN1.22	39.4	10.4	1.2	0.3	4.0	3.5	0.7	2.0	0.4	35.4
平均	37.5	7.1	1.0	0.1	3.7	2.9	0.5	1.4	0.2	41.8
12月平均	35.2	8.6	1.1	0.1	3.7	3.1	0.6	1.5	0.4	41.5
前月比	2.3	-1.4	-0.1	-0.0	0.1	-0.2	-0.0	-0.1	-0.1	0.3

会派結成問題が惹起し、これに對抗して立憲と社民の統一会派結成。「小沢自由党は原発や消費税の政策的違いを、国民の政策を丸呑み」「立憲も枝野代表は『数合わせはしない』と言ってきたのに」「野

党内でのボス争い」等とメディアが報ずるなど、波乱含みの展開だ。しかし「次の参議院選挙は野党共闘で」という世論の声は変わらず、1月は野党共闘推進に「賛成 50.5%・反対 33.5%」(2社平均)と、ほぼ12月調査「賛成 50%・反対 32%」(朝日)と変わらない。

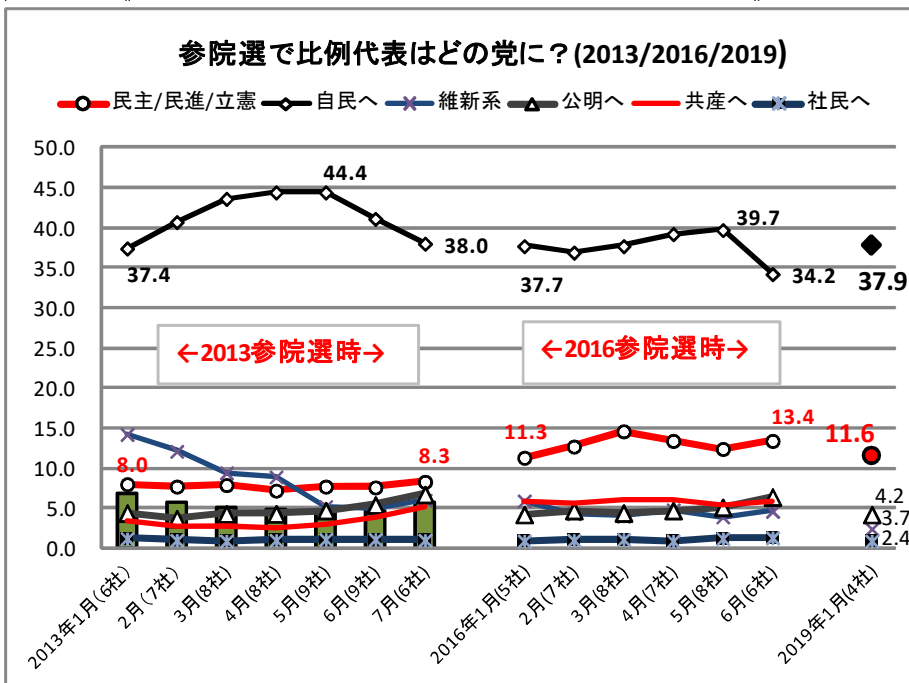
3. 参院選で比例代表は…自民へ37.9%、立憲へ11.6%(2016参院選並の出だし)

参院選では比例代表はどの党に ※3-6年前との比較

	2019.1月a	2016.1月b	2013.1月c	a-b差	16得票率	獲得議席	13得票率	獲得議席
自民へ	37.9	37.7	37.4	0.2	35.9	55	34.7	65
公明へ	4.2	4.2	4.4	0.0	13.5	14	14.2	11
自公計	42.1	41.9	41.8	0.2	49.4	69	49.0	76
民主へ*民進		11.3	8.0	-11.3	21.0	32	13.4	17
立憲へ	11.6			11.6				
国民へ	1.3			1.3				
共産へ	3.7	5.9	3.3	-2.2	10.7	6	9.7	8
維新へ	2.4	7.4	14.2	-5.0	9.2	7	11.9	8
社民へ	0.9	0.9	1.2	0.0	2.7	1	2.4	1
自由へ*生活	1.0	0.5	0.8	0.5	1.9	1	1.8	0
希望へ	0.3			0.3				
その他		0.0	6.9	0.0	5.0		8.9	8
野党計	21.2	26.0	34.4	-4.8	50.5	47	48.1	42
未決定NA	34.0	27.9	19.2	6.1		他5		他3
総計	97	96	95	1.5	100	121	97	121

⑤参院選の年になると1月調査から「比例代表はどの政党に？」という設問が出るようになったが、今回は「自民党へ」が37.9%、「立憲民主党へ」が11.6%などの結果が出ている(6社平均)。

これを3年前、6年前と比較してみたのが左表だ。自民党は事前の調査と選挙結果がほとんど変わらない(むしろやや減少する)。これに対して野党は、最終的には無党派からの応援が得られるので、事前の調査を上回る選挙結果が得られる。6年前のスタート時は「民主党へ」が8.0%、結果得票率は13.4%。3年前の「民主党へ」(3月に維新の党が合流して民進党に)は11.3%でスタートしているから、ほぼ今回の「立憲へ」11.6%と同じ水準にある。自民



と立憲野党との対抗構造は「2016年参院選挙と出だしでは同じくらいか」と言って良いのだろう。後は、選挙闘争の推進過程における戦い方で行方と結果が変わってくる。

#### 4. その他…新元号4.1発表、韓国徴用工・レーダー問題、日ロ交渉など

##### 政府は新元号を4.1に公表の方針

	賛成・評価	反対
共同1.14	66.2	23.1
JNN1.14	67	14
NHK1.15	70	23
FNN1.22	73.4	17.1
日経1.28	69	21
平均	69.1	19.6

##### 西暦と元号のどちらを使いたい

共同1.14	①両方 39.8
②西暦 34.6	③元号 24.3
FNN1.22	①両方 41.1
②西暦 31.8	③元号 26.8

##### 政府の姿勢—元徴用工・レーダー問題

	評価する	評価しない
朝日1.22	38	48
ANN1.28	32	47
平均	35.0	47.5

##### 韓国との関係改善をする必要

	必要ある	必要ない
ANN1.28	69	23

##### 今後の日韓関係のあり方

読売1.28	①関係改善のため、日本の歩寄りも 22	②改善なくてもやむなし 71
--------	---------------------	----------------

##### 韓国徴用工—対抗措置をとるべきか

	とるべき	必要ない
FNN1.22	76.8	14.4

##### 韓国徴用工—日本政府の対応を

	支持する	支持しない
共同1.14	80.9	11.3
FNN1.22	84.5	9.4
平均	82.7	10.4

##### 韓国徴用工—日本政府の対応は

NHK1.15	①2国間で話し合う 20
②国際社会で解決 53	③対抗措置 17
日経1.28	①もっと強く対応を 62
②もっと韓国の主張を聞く 7	③静観 24

##### 日韓レーダー—日本政府の対応を

	支持する	支持しない
FNN1.22	85.0	8.8

##### 日韓レーダー問題—韓国の照射否定

	納得できる	納得できない
JNN1.14	2	87

##### 夏の参院選での比例投票先

共同1.14	①自民 31.9	②立憲 9.4
③公明3.5	④共産3.2	⑤維新 2.5
⑥国民 1.9		

JNN1.14	①自民 34.0	②立憲 6.6
③公明3.6	④共産2.7	⑤維新 1.1
⑥国民 1.0	⑦社民・自由 0.3	⑨希望 0
⑩未定 37.6		

朝日1.22	①自民 41	②立憲 15
③公明 5	④共産 5	⑤維新 4
⑥国民 2	⑦社民 1	⑧自由 2
⑨希望 1	⑩他・NA 22	

FNN1.22	①自民 39.3	②立憲 14.5
③公明 4.1	④共産 3.4	⑤維新 2.7
⑥国民1.9	⑦社民 1.1	⑧自由・希望 0.5
⑩他・NA 32.0		

読売1.28	①自民 40	②立憲 12
③公明 4	④共産 5	⑤維新 2
⑥国民 1	⑦社民 1	⑧自由 1
⑨希望 0	⑩他・NA 33	

※無は自16立14未45

日経1.28	①自民 41	②立憲 12
③公明 5	④共産 4	⑤維新 2
⑥国民 1	⑦社民 1	⑧自由 1
⑨希望 0	⑩他・NA 33	

##### 参院選で議論してほしい政策は

朝日1.22	①医療・年金、社会保障 34
②景気・雇用 15	②子育て支援 15
④外交安全保障 13	⑤憲法改正 10
⑥消費税引上 9	

##### 日韓レーダー問題—韓国の主張

	納得できる	納得できない
JNN1.14	4	81
FNN1.22	3.7	90.8
平均	3.9	85.9

##### 日韓レーダー問題の対応は

NHK1.15	①日韓当事者で協議 28
②国際機関に訴える 56	③静観する 6

##### 北方領土問題は進展すると思うか

	思う	思わない
JNN1.14	16	75
FNN1.22	20.4	72.9
読売1.28	20	69
日経1.28	18	76
ANN1.28	16	72
平均	18.1	73.0

JNN1.14	①4島一括返還 30
②2島先行、残りは継続協議 47	③2島返還で決着 8
④返還求めない 7	

FNN1.22	①4島一括返還 32.9
②2島先行、残りは継続協議 43.5	③2島返還で決着 10.1
④返還求めない 7.3	

読売1.28	①4島一括返還 23
②2島先行、残りは継続協議 53	③2島返還で決着 15

ANN1.28	①4島一括返還 41
②4島面積半分 13	③2島のみ 33

##### 日ロ平和条約の締結について

	早く締結を	急ぐ必要ない
NHK1.15	30	28

どちらとも 31

##### 解決に向けて進むことに期待するか

	期待する	期待しない
朝日1.22	57	37

##### 主権はロシアとの主張に納得できるか

	納得できる	できない
朝日1.22	8	80

##### 色丹・歯舞返還後、2島の共同管理

	賛成	反対
朝日1.22	38	40

##### 領土問題決着前の平和条約締結

	結んで良い	反対
日経1.28	42	46

##### IWCからの脱退について

	評価する	評価しない
NHK1.15	53	37
読売1.28	51	35
平均	52.0	36.0

##### 日本の司法制度をどう思うか

	問題ない	見直すべき
NHK1.15	31	21

どちらとも 41

☆これまでのデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用してください。  
<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)